



第15回

「竹島の日」を考え直す集い

2018年3月3日(土)

午後2時～4時30分 (1時30分開場)

会場：八尾韓国人会館 (JR 関西本線 志紀駅下車徒歩2分)

八尾市志紀町3丁目30番地

主催：「竹島の日」を考え直す会 協賛：韓国慶尚北道独島財団

参加費：500円 (会員無料)

私たちは島根県が2月22日の「竹島の日」を定め、「竹島の領土権の早期確立」を政府にせまることがなぜ間違っているかを研究している会です。教科書に書かれている日本政府の「竹島は日本固有の領土」との見解が如何に矛盾に満ち、かつ歴史的な真実を無視したものであるかを明らかにし、正しい歴史認識によって、日本と韓国の友好関係を築きたいと活動しています。本会は発足後5周年を迎えます。今までの成果を確認しこれからどう取り組むべきかを共に考えようではありませんか。

第一部

講演 (日露海戦の図版史料の映写)

「竹島の日」はなぜ考え直さねばならないか

～竹島＝独島はバルチック露艦隊を迎撃する戦略要地であった～

久保井 規夫 (「竹島の日」を考え直す会理事長・歴史学名誉博士)

第二部

パネルディスカッション

「竹島の日」を考え直す会の今までとこれから

黒田 伊彦 (「竹島の日」を考え直す会副代表・元大阪樟蔭女子大学教員)

(パネラー) 漆崎英之氏 (金沢・日本キリスト改革派 牧師)

北村めぐみ氏 (広島・手話通訳者)

稲垣豊氏 (東京・「竹島の日」を考え直す集会実行委員会)

宋 彙榮氏 (嶺南大学校 歴史学教授)